

2011.9.1 第1116号  
ISSN 0913-0217

発行人／長 瀬 清  
発行所／北海道医師会  
〒060-8627

札幌市中央区大通西6丁目  
TEL(011)231-1432  
FAX(011)221-5070

# 北海道医報

2011

9

月号



北海道 美の遺産

小川東洲 鶴

北海道立函館美術館 所蔵

# CONTENTS

北海道医報  
平成23年9月1日 第1116号

指標／北海道における地域がん診療連携拠点病院と がん地域連携クリティカルパスの整備状況について……………	畑 俊一……………	3
医の倫理綱領……………		8
北海道医師会 告示……………		9
速報／平成23年度 北海道医師会賞 受賞者決定！……………		10
報告／第45回 北海道総合保健医療協議会総会および各専門委員会……………	三宅 直樹……………	12
第7回 男女共同参画フォーラム……………	藤井 美穂……………	14
日医報告／日医総研シンポジウム……………	水谷 匡宏、橋本 洋一……………	18
学会報告／第531回「実地医家のための会」旭川例会……………	今本 千衣子……………	20
腎の総合画像診断……………	水関 清 ほか……………	22
熊熊通信／岩見沢市医師会……………	石塚 竜哉……………	26
千歳医師会……………	加藤 政和……………	26
富良野医師会……………	角谷 不二雄……………	27
空知南部医師会……………	久野 和成……………	28
滝川市医師会……………	野口 淳史……………	29
夕張市医師会……………	岡部 紘明……………	30
税務相談室／接待交際費と損害賠償金……………	中村 孝……………	34
北海道医歌人会 詠草……………		35
会員のひろば／個人輸入してまでIPV接種を始めた理由と経緯……………	杉山 元……………	36
なでしこ見習いのワークライフバランス……………	飯島 朝子……………	36
宮沢賢治とチェロ……………	後藤 義朗……………	37
俗称あれこれ……………	藤田 靖幸……………	38
北海道版循環型パス『脳卒中あんしん連携ノート』の 運用について……………	寶金 清博 ほか……………	39
患者さまか、患者さんか、それとも患者か……………	土肥 修司……………	40
医学会・医学講演会等 開催情報……………		42
中央42 道南47 後志48 日胆49 空知50 道北51 北見53 道東54		
会議室／第7・8回 常任理事会……………		58
道医の動き……………		60
新規指定医療機関……………		62
売貸医院・医師招聘情報……………		64
訃報……………		67
道医師国保の頁……………		68
季節風／「危機管理」を考える……………	前川 勲……………	80

## お知らせ

電子メールによる会員への情報提供⑦／2012年版 医師日記の申込みについて⑪  
平成24年 経済センサスー活動調査の実施⑬／研修会等への託児サービス併設費用の助成⑮  
道医サポートセンターのご利用について⑳／特定健康診査に関するお知らせ㉔  
認定産業医制度 研修会一覧㉖／認定健康スポーツ医制度 再研修会一覧㉗  
電子メールアドレス発行申し込みのご案内⑥  
第51回 北海道医家邦楽大会、第53回 札幌市医師会邦楽大会㉚  
第25回 全道医家磯釣大会㉛／グループ保険のご案内㉞

北海道医師会会員数	8,394名 (+1)	うち日本医師会会員数	6,044名 (-5)		
A	2,554名 (-9)	B2	4,568名 (+7)	C2	174名 (+1)
B1	575名 (+4)	C1	111名 (+1)	C3	412名 (-3)

平成23年7月31日現在 ( ) 内前月比

## 作品紹介

おがわ とうしゅう  
小川 東洲 鶴

1928 (昭和3) 年～

深川市生まれ。

1977 (昭和52) 年の作品。墨・紙・額 (64.5×57.3)。

少年期より比田井天来、渡辺沙鴨、川谷尚亭などの書を独習。  
1949 (昭和24) 年に北海道第一師範学校 (現・北海道教育大学札幌校) を卒業、深川町立深川中学校の教諭となった。

1964年に「第3回北海道書道展」で大賞受賞、会員に推挙される。1965年にサンフランシスコで個展を開催し、1980年には

## 北海道美の遺産

写真・資料提供：北海道立函館美術館  
(函館市五稜郭町37-6 0138-56-6311)

ヴェネツィアの「今日の書展」、北京の「現代日本の書道展」で招待出品として作品を展示。1982年にポストン美術学校教授、ハーバード大学客員教授となる。1991年、「魔性月光」ほか4点がロンドンの大英博物館に収蔵、1998年には同館主催の初の書展「小川東洲書の芸術展」が4ヵ月にわたり開催された。

本作は、釧路湿原でみた野生の鶴に着想を得て書かれた連作のうちの一つ。1977年11月には「鶴による小川東洲書展」として、本作を含む23点が東京・帝国ホテルのギャラリーに展示された。

昭和天皇崩御の際に、「天皇崩御」と「昭和天皇大葬」の題字を揮毫したことも知られる。2001年には深川市に「アートホール東洲館」がオープンした。